

学校教育目標	「えがお かがやき 磯子小」 【知】わくわく感をもって学び、自分の考えをもち、表現できる子を育てます。 【徳】自分が大好き、友だちが大好きな子を育てます。 【体】自分と友だちの体と健康(命)を大切にすることを育てます。 【公】地域を愛し、地域と共に歩む子を育てます。 【開】様々な人とのコミュニケーションを通じて、将来に夢をもてる子を育てます。				
	創立 150 周年	学校長 江目 親利	副校長 大木田 明子	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 7
学校概要	児童生徒数: 525 人 主な関係校: 岡村中学校 岡村小学校 滝頭小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉	岡村中学校 磯子小学校 岡村小学校 滝頭小学校4	〇コミュニケーション能力の向上を通して、自分自身を大事にする 気持ちや相手を思いやる気持ちのある子 ・授業交流を年2回設定し、各教科・領域において9年間の連続性・系統性を意識した授業を展開する。・児童生徒交流日を中心に、中学校に対する6年生の理解を深めるとともに、中学校生活に向けての意識を高める。・教務主任、小中一貫担当者、専任等各担当者間での情報共有を密にし、自校の学習指導や児童指導の取り組みに生かす。 ・小学校における一部教科担任制を導入した学習指導を行う。

中期取組目標	<p>〇学校教育目標実現に向け、「信頼」と「創造」をコンセプトにした学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学力向上や心の安定を図るといった視点に立ち、一部教科交換による学年担任制を組織的・継続的に推進します。 ・学ぶ楽しさや達成感が体得できるような授業づくりを推進し、基礎・基本の定着を図ります。 ・子ども一人ひとりの自尊感情や自己肯定感を高め、子どもどうし互いに共感的に理解し合える人間関係づくりに努めます。 ・健康な心身を育成するための基礎として、家庭と協力し基本的な生活習慣の形成や定着に努めます。 ・小中一貫ブロックや幼保小ブロック、家庭・地域と連携し、信頼される学校づくりを推進します。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導	①めあて→めあてを意識した授業展開→めあてを意識した振り返りをし、何を身に付けさせるのか確実に理解して授業を行う。 ②校内授業研を充実させると共に、資質・能力を明確にした子どもが主体的に学習に取り組む授業を目指す。 ③宿題などによる家庭学習の充実と習慣化を図ると共に基礎基本の定着を確実にする。
担当	学習研究部	
徳	人権教育	①なかよし活動や他学年との交流を深め、相手意識をもち、行動できるようにする。 ②かけがえのない命の大切さ、生命を慈しみ尊重する心や態度を育成するため、「いのちの教育」を推進する。 ③道徳、特別活動、総合的な学習の充実を図り、自尊感情を高めると共に、人間関係形成力を付け、道徳的実践力を養う。
担当	人権・保健・道徳	
体	健康教育	①家庭を啓発し、「早寝早起き朝ごはん」や「あいさつ」等基本的な生活習慣の定着を図る。 ②ドッジボール週間や長縄等、運動に親しむ機会を設けると共に、外部機関とも連携し、運動習慣の定着や健康の保持増進を図る。 ③学校保健委員会の取組を充実させ、自分の心と体や健康への関心を高める。
担当	体育部	
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①他者とのかわりを意識した児童指導の充実を図り、一人ひとりが自己肯定感を高めるようにする。 ②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、系統的な振り返りになるようにしたりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当	特活部	
いじめへの対応		①YPの研修を確実にし、一人一人を見とる力をつける。②全学年で教科交換を行い、チームマネージャーを中心に複数の目で子どもを見ていく学年担任制により、いじめ防止及び早期発見に取り組む。③磯子小いじめ防止基本方針に基づき、いじめの発見時には、素早い対応チームづくり、解決に向けて体制を強化する。
担当	児童指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①メンターチームの研修の充実を図り、学習指導、児童指導の実践力を高める。②校内OJTや計画的な校内研修の実施により職員の資質向上に努める。③チームマネージャーを中心とした学年経営により、また教科分担任制により教材研究の時間を減らすことで、ワークライフバランスを推進し働き方改革につなげる。
担当	教務会	
特別支援教育		①関係諸機関との協力・連携を図り、特別支援を要する児童の教育を充実させる。②各担任同士の打ち合わせを密にし、一般級と個別支援学級の連携強化を図る。③学習上の困難を改善するために、個別指導(スマイル教室)を充実させる。④支援を要する児童に寄り添える人員を増やしていく。
担当	特別支援教育委員会	
児童生徒指導		①「子どものよさを語り合いタイム」で児童理解を深め、児童の状況や情報を教職員間で確実に共有する。②各種「磯子小スタンダード」を全職員で確認・共有し、児童に寄り添った指導を確実にし行う。③「あいさつ・言葉遣い・優しい気持ち」を合言葉に、一人一人の児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。
担当	児童指導部	
地域連携		①学校運営協議会を充実させ、学校運営への家庭・地域の参画及び協力の体制づくりを積極的に進める。 ②学校の諸活動に、地域・保護者の方の協力をいただき、学習や生活の充実を図る。 ③学校だよりや学校HPを通して、きめ細かな情報発信を行い、積極的に学校の情報を提供する。
担当	教務会	
情報教育		①令和4年度の教育を基に、さらに端末の使用やプログラミング教育をすすめて、子どもの情報活用能力を高める。 ②学習や行動の記録を蓄積し、自らの学びの振り返りに活用できるようにする。 ③情報モラル教育を通して、情報社会における適切な考え方と態度を育成する。
担当	GIGA SP	